

2015年2月13日
AIG ジャパン・ホールディングス株式会社

国連防災世界会議の関連イベントの英語での情報発信をサポート 地域の人のつながりが培った約30の防災事例の海外への発信を支援

AIG ジャパン・ホールディングス株式会社(代表取締役社長兼CEO ロバート L. ノディン、以下、AIG ジャパン)は、本年3月に仙台市で開催される国連防災世界会議*に関連して、同市内でパブリック・フォーラムとして開催される「市民協働と防災」テーマ館の運営を支援します。AIG ジャパンは、同テーマ館の英語資料の作成をサポートするとともに、社内通訳を運営ボランティアとして派遣することで、海外からの来館者と出展者とのコミュニケーションを橋渡しします。

本テーマ館は、「マチノワ：つながる想いをマチのちからに」をコンセプトに、3月14日から17日までの間に仙台市市民活動サポートセンターを会場に開催されます。東日本大震災の被災地各地で活動するNPO等の約30団体が、各団体の活動内容や、地域・団体間で生まれた連携事例などを、シンポジウムやワークショップ、展示等で紹介します。また国内外の団体間の情報交換、交流の機会を創出する場となることも企図されています。

米国に本拠を置くAIGの日本事業を統括する会社であるAIG ジャパンは、社内の通訳部門のスタッフを同館の運営ボランティアとして派遣することで、海外からの来館者との情報交換や交流の促進に貢献する予定です。

「市民協働と防災」テーマ館について
運営：「防災からまちづくりを考える実行委員会」
会場：仙台市市民活動サポートセンター
(仙台市青葉区一番町四丁目1-3)
日程：2015年3月14日～17日
ホームページ：<http://www.machinowa.net/>



これまでもAIG ジャパンは防災啓発や防災教育の支援に取り組むCSR活動の一環として、地域コミュニティ・レベルで行われた防災や復興の活動事例を国内外に紹介するプログラム「EARTH MANUAL PROJECT」(主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸)を支援しています。

* 国連防災世界会議は、国際的な防災戦略を策定する国連主催の会議です。第3回世界会議は2015年以降の新たな国際防災の枠組を策定するため、東日本大震災の被災地である仙台で開催されます。(内閣府ホームページより抜粋) パブリック・フォーラムは、会議期間中、国内外の多様な主体による防災や減災、復興に関する取り組みを一般公開により広く発信するものです。350以上のシンポジウムやセミナー、200以上の展示、100以上のポスター展示が行われます。